

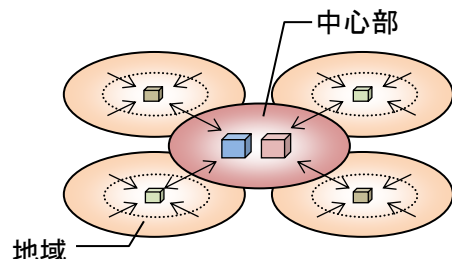
「丹波市の未来を見据えた都市構造」議論用資料 今後の検討の方向性

■20年後の基本的なまちづくりの方向性とその実現に向けて

先に整理した現状と課題整理を踏まえ、20年後の基本的なまちづくりの方向性を設定する。

【20年後の方向性：住みなれた地域に住み続ける+中心部に都市機能を一定集積】

- 全市的機能は集約化して効率化を図りつつ、最小限の機能を地域に残し、全体効率はある程度確保
- 中心部でも地域でも目的に応じて快適な暮らし方を支える



まちづくりの方向性の実現により期待される効果（メリット）

- 地域においても一定の利便性が確保されるため、市民が住みなれた地域に住み続けることができる。
- 都市機能の集約により、インフラ、施設の整備や移動にかかる効率性が高まる。

■中心部のあり方

- 中心部は、都市活動の拠点として位置付けられるエリアである。
- 行政、商業、医療、福祉など様々な分野における市の中核的な役割を果たす都市機能が集積し、合理的な土地利用がなされている。
- まちを形成するため、高度な都市的サービスが提供されている。
- 自家用車だけでなく、公共交通機関によっても、地域からのアクセスが容易である。

■都市機能配置のイメージ

- （中心部のイメージ）
- 中心部は、新たな市街地を開発するのではなく、既に一定のインフラ整備や都市機能の立地が進みつつあるエリアに配置され、全市的な都市機能の集積、立地が図られている。
- （地域のイメージ）
- 地域は、既存の施設やインフラを生かせる場所に配置され、普段の生活に必要な行政機能、生活サービス機能等の立地が図られている。
- （都市機能連携のイメージ）
- 中心部～地域は、円滑な移動ができるよう公共交通による連携が図られている。

■ 都市機能の分担イメージ

都市構造を構成する要素	担う機能	都市機能の分担	
		中心部	地域
行政機能	行政サービスを受けることができる機能	• 議会、行政執務、市民窓口	• 市民相談窓口
生活サービス機能	日常生活を支える機能	• 大規模商業機能 • 金融窓口	• 日用品等販売サービス • ATMサービス
教育機能	学校教育、幼児教育、子育てを支える機能		• 小学校教育 • 中学校教育 • 就学前教育・子育て支援
医療・福祉・保健機能	診療、健康管理、健康増進など医療・保健サービスを受けることができる機能	• 二次医療 • 基幹福祉サービス	• かかりつけ医 • 地域福祉サービス
地域づくり機能	地域づくり活動を支える機能	• 市民活動支援	• 地域づくり活動
安全・安心の機能	災害に備える機能	• 消防指揮・統括 • 災害対策本部	• 非常備消防 • 避難所
文化・スポーツ機能	文化・スポーツ活動を支える機能	• 文化・スポーツ振興	• 住民学習
観光機能	市外からの観光客を受け入れる機能	• 観光マネジメント	• 観光資源



→ 将来の暮らしとまちの姿（関連する諸施策）のあり方（別紙）